



- Proton exclusion of aquapolin
- 超大規模計算プロジェクトに向けて

ONLINE







Application: LCARS-3004 Selective Ion Binding by human lysozyme ONLINE 378-212 タンパク質による分子認識は生命を維持する。 上で基本的な生理機構の一つである MODE SELECT VIEW • 分子認識機構のもっともシンプルなものとして "選択的なイオン結合(selective ion-binding)"が ある

 ここでは3D-RISM理論を用いてlysozymeの選択 的なイオン結合について行った研究を報告する

ONLINE

N.Y., S. Phongphanphanee, F. Hirata



Reference : Kuroki, R.; Yutani, K. J. Biol. Chem. 1998, 273, 34310.









					т.
		18		. 1	
	п				
U					
_		_	_		-



















MODE SELECT

VIFW

- Wild typeおよびQ86Dはどのイオンも結合しない Q86D/A92DはNa+及びCa²⁺いずれも結合する→実 験と一致
- A92Dは実験と異なりCa²⁺とも親和性をみせた (ただし、Na+の方が親和性は高い)
- 3D-RISM理論で実験が再現できたことで、実験が行われていない別のmutantなどに対してもイオン選択性を予言出来ることが示された

LCARS-3004

ONLINE

Application: Proton exclusion in aquapolin channels

378-212

MODE SELECT

アクアポリンは4個の分子チャネルからなる複合チャネルであり、
 水分子を透過することにより細胞内の水の濃度を調節する重要な蛋白質である。

VIEW

- アクアポリンチャネルは高い 選択性を持ち、イオンはおろか プロトンさえも通さない
- アクアポリンのプロトン排斥機構
 についてはこれまで多くの研究
 がされているが未だに議論は
 つきない



S. Phongphanphanee, N. Y., F. Hirata













ONLINE

Summary

378-212

MODE SELECT

VIEW

- 3D-RISM理論でAQP1とGlpFのプロトン排斥機構についての研究を行った
- AQP1の場合チャネル内の強い正の静電ポテンシャル
 によりプロトンの透過を阻害している
 - GlpFの場合、静電ポテンシャルによる阻害領域は AQP1よりも小さくプロトンジャンプでの透過の可能性 がある。NPA領域では強く配向した水分子がプロトン ジャンプ機構を阻害している。









3D-RISMとの連成計算

378-212

MODE SELECT

VIEW

- 3D-RISMを繰り返し
 解く必要がある
- MD/MCでは3D-RISM が律速
- 3D-RISMの律速は
 三次元フーリエ変換





